

令和 8 年 (2026 年) 8 月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

【PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ】

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号とともに、PIARC 技術レポート等ご案内いたします。最新号は前号に続き、3 月に開催されたシャンベリー冬期大会特集です。今号では大会総括、そして PIARC 賞に次ぐ佳作を受賞した論文が紹介されています。佳作論文は 3 部門にて選出され、そのうち「レジリエンス」部門は中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋（株）の論文が、「脱炭素」部門は JFE エンジニアリング（株）の論文がそれぞれ受賞しました。PIARC 賞受賞論文（首都高（株））を含め日本から 3 編の論文が優秀賞を受賞、日本の道路技術の高さが評価される結果となりました。今号に掲載されている佳作論文をぜひご一読いただければ幸いです。また現在、2027 年バンクーバー世界大会へ向けて論文概要を募集中です。詳細は以下に記載しておりますのでご確認ください。シャンベリー冬期大会に続き、多くの皆さまに論文執筆をいただければ幸いです。

1. ROUTES/ROADS 最新号（409 号）の紹介

【特集】シャンベリー冬期大会総括&佳作論文



2. 今号の主な記事の紹介

■最新情報(What's new?)

- ✓ 次世代デジタル対応の高速道路の整備（中国） - 6 頁
- ✓ 地方部の道路の交通安全（メキシコ） -13 頁

■特集(Features)

- ✓ シャンベリー冬期大会総括 - 19 頁
- ★シャンベリー冬期大会 佳作論文★
- ✓ ポットホール補修の耐久性向上(日本) - 23 頁
- ✓ 気候変動の影響に対する国道の脆弱性の総合評価 (フランス) - 29 頁
- ✓ 鋼橋の建設及び維持管理における温室効果ガス削減技術の費用対効果の分析(日本) - 35 頁

【バンクーバー世界大会 論文概要募集 〆切間近！】

2027 年 10 月 4 日～8 日にかけてカナダ・バンクーバーで開催される第 28 回世界道路会議（バンクーバー世界大会）に向けた論文概要の募集を行っております。57 のトピックスが対象となっており、関心のある分野に応募をいただきやすい非常に幅広いテーマ設定です。

論文概要の提出締切は 8 月 31 日です。

大会情報詳細は日本道路協会ウェブサイトにてご案内しておりますのでぜひご覧ください。



日本道路協会ウェブサイト：

<https://www.road.or.jp/international/piarc.html#kongo>

【SURF 2026@東京 開催のご案内】

SURF2026

11 月 9 日～11 日にかけて日本道路協会主催・PIARC 共催による「第 10 回路面性状に関する国際シンポジウム（SURF2026）」を東京（羽田）にて開催します。

「路面と社会の相互作用におけるイノベーションの推進」をテーマに、参加各国における最新の研究成果や技術発表・情報交換を行います。現在、SURF 公式ウェブサイトにて参加登録を受付中です。

SURF 公式ウェブサイト：

<https://pub.conf.atlas.jp/ja/event/surf2026>

3. PIARC パリ事務局からのお知らせ

テクニカルレポートの紹介とともに、PIARC パリ事務局より最新のトピックスを紹介いたします。

～テクニカルレポートのご紹介～

①農村部・都市間地域の交通安全の課題と解決策

本レポートでは、地方部および都市間道路における道路安全の現状と、事故削減に向けた具体的な取り組み等がまとめられています。これらの地域は交通量が少ないものの、速度超過や道路環境、救急対応の遅れなどから死亡・重傷事故の割合が高くなっています。対応策として、防護柵の設置や歩行者・自転車道の整備といったハード面の改善に加え、自動取り締まりやリアルタイム監視といった先端技術の活用など、費用対効果の高い多様な対策が示されています。

今後、我が国において効果的な道路安全対策や交通施策を検討する際の参考としてご覧いただければ幸いです。〈レポート掲載ページは[こちら](#)〉



②道路通行止めの基準：世界の取り組み

本レポートでは、異常気象時における道路通行止めに関して、世界的な現状や各国の実践事例、専門家の知見等がまとめられています。予防的な通行止めを実施することで利用者の移動行動の変容を促すこと、安全確保や早期復旧を図るアプローチが解説されており、今後の道路管理や危機管理を考えるうえで重要な内容が記載されています。

例えば、通行止め措置は、早期警戒から事後対応までの4区分に整理されています。また、気象情報や予測データの活用、地域の地形・交通条件に合わせた運用の重要性も示されています。今後、我が国で異常気象に対応した道路の通行止めの運用を検討・改善していく際の参考としてご覧いただければ幸いです。

〈レポート掲載ページは[こちら](#)〉

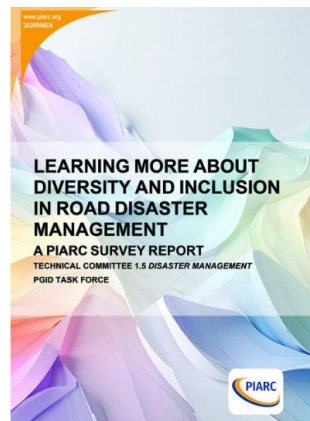


③道路危機管理における多様性と包括性

本レポートでは、PIARCの技術委員会が実施した調査や2025年5月に大阪で開催された国際ワークショップなどをもとに道路防災分野における多様性やジェンダーに関する現状や課題がまとめられています。

多様性やジェンダーに関して、啓発活動や支援策の導入により効果を上げている組織がある一方、多くの国や組織で戦略策定が遅れているといった実態も指摘されています。国際的な動向が掲載されておりますので、我が国において、多様性に配慮した道路の危機管理を検討していく際の参考としてご覧いただければ幸いです。

〈レポート掲載ページは[こちら](#)〉



～PIARC パリ事務局便り～

新テクニカルアドバイザー（TA）の着任挨拶

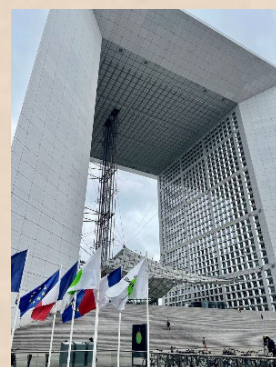
2026年7月より、PIARC 本部事務局（フランス）に着任した広瀬（原籍：NEXCO 中日本）と申します。ST-3（安全と持続性）に属する技術委員会やバンクーバー世界大会の論文募集に関する業務を担当いたします。

これまでの略歴は、国内事業では新東名高速道路などの新規建設事業、北陸自動車道の維持管理、海外事業では在ラオス日本国大使館への出向、JICA 技術協力プロジェクトにてタイとタジキスタンの道路整備に携わってきました。また、一年間米国の大学院留学の機会にも恵まれました。今回は、初めての欧州勤務となります。

PIARC を拠点として世界及び日本の道路整備に貢献できることをうれしく存じます。フランスでは、武道、日本食、漫画など、想像していた以上に日本の文化が親しまれており、非常に誇りに思います。私自身も趣味の極真空手をフランスで習い始めました。

今後、道路に関する有益な情報を届けたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

文責：広瀬久也



PIARC 本部事務局所在
(新凱旋門)

PIARC 活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤：ando@road.or.jp

PIARC 本部事務局 広瀬：hisaya.hirose@piarc.org